

平成 28 年度 創形美術学校
項目別・自己評価表

平成 29 年 3 月 31 日

学校法人高澤学園 美術造形専門学校

創形美術学校

目次

1. 学校の教育目標
2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画
3. 評価項目の達成及び取組状況
 - (1). 教育理念・目標
 - (2). 学校運営
 - (3). 教育活動
 - (4). 学修成果
 - (5). 学生支援
 - (6). 教育環境
 - (7). 学生募集
 - (8). 財務
 - (9). 法令遵守
 - (10). 社会貢献・地域貢献
 - (11). 国際交流
4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果
 - (1). 教育評価
 - (2). 財務評価
 - (3). 一般的評価
5. 学校関係者評価委員の評価結果について

1. 学校の教育目標

本校は広く美術造形・デザイン全般に関する高度な学理と技能の教授、あわせてグローバルな社会に対応する幅広い教養を身に付けた人格の形成を図り、現代社会に貢献する優れたクリエイターを育成する。それによって日本文化の発展に貢献することを目的とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) クリエイティブ業界と学生のニーズを反映し、合わせてグローバル感覚を身につけることが出来るバランスのとれたカリキュラム編成の中長期的な策定する。
- (2) 社会人としての自覚と責任の育成を目的として学外の意見を取り入れ、より社会との接点を増加させる。また地域との産学連携を行い、学校としての社会的貢献と学生活動の支援を推進する。
- (3) 学校運営・財務の適正化をさらに図る。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切 ...4、	ほぼ適切 ...3、	やや不適切 ...2、	不適切 ...1
・学校の理念・教育目標・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
・学校の特色は示されているか	④	3	2	1
・学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
・学校の理念・教育目標・育成人材像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像が方向づけられているか	④	3	2	1

○課題

変化の激しい業界に対応した人材育成において、カリキュラムを常に検討、改定を行う。

○今後の改善方策

本課程、研究科、社会人教室の充実と相互接点を持たせた取り組み。

○特記事項

職能上必要なスキルを習得させながら、社会人としての自覚と責任を持たせることを教育理念達成の目的とする。

(2). 学校運営

評価項目	適切 ...4、ほぼ適切 ...3、 やや不適切 ...2、不適切 ...1			
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・ 運営組織や意思決定機能は、明確化されているか、 有効に機能しているか	④	3	2	1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・ 意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

○課題

教育活動等に関する情報公開の強化。次年度におけるカリキュラム策定期間の前倒し

○今後の改善方策

映像設備の充実と活用。学内における IT 化への環境整備と推進。

○特記事項

研究科のシステム変更と社会人教室のリニューアル、海外留学準備コースの新設。

(3). 教育活動

評価項目	適切 ...4、ほぼ適切 ...3、 やや不適切 ...2、不適切 ...1			
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや 教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件が 体系的な位置づけにあるか	④	3	2	1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員 （本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1

○課題

基礎課程教育と専門課程のバランスを考え、カリキュラム編成の見直し。

○今後の改善方策

専攻を超えたフレキシブルなカリキュラムのスムーズな運営を図る。

○特記事項

産業界との連携を多強化する。

(4). 学修成果

評価項目	適切 ...4、	ほぼ適切 ...3、	やや不適切 ...2、	不適切 ...1
・就職率を向上させるための施策は図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
・退学率の低減するための施策は図られているか	④	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し 学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

○課題

就職の意義をとらえる強化が必要

○今後の改善方策

就職関連授業の充実と大学院進学希望学生（研究科）に対応した授業の充実。

学生の卒業後の進路を学生個々の適正を判断しながら個別面談の回数増加を図る

○特記事項

「就職活動フォロー制度」の立ち上げ。

(5). 学生支援

評価項目	適切 ...4、	ほぼ適切 ...3、	やや不適切 ...2、	不適切 ...1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1

○課題

作家やフリーランスを目指す学生の活動支援。

○今後の改善方策

業界、外部関係者と連携をはかりながら学生支援、就職支援を強化、改善していく。

○特記事項

個々に対応した学生支援を図る。

(6). 教育環境

評価項目	適切 ...4、	ほぼ適切 ...3、	やや不適切 ...2、	不適切 ...1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

○課題

インターンシップの強化及び就職セミナー授業の強化。

○今後の改善方策

中、長期整備計画を作成、教育施設、設備の充実を図る。

飲食系自販機等の充実を図る。

○特記事項

防犯・防災に対しての設備強化。

学生一人に対して最新 PC 一台の設置。

グラフィックデザイン専攻およびアニメーション&コミック専攻の学生に対して個人専用 PC の設置。

全館 LED 電灯への変換

全館トイレの改修、並びに全洋式化。

(7). 学生の受け入れ募集

評価項目	適切 ...4、	ほぼ適切 ...3、	やや不適切 ...2、	不適切 ...1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・入学選考の時期、基準、方法は適正に行われているか	④	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

○課題

既卒者に対する募集活動と教育成果のアピール強化。

2018年問題に対応した高校生へ向けた学生募集対策の強化が必要。

○今後の改善方策

広報宣伝費の予算強化と戦略の強化。

○特記事項

教育効果は、常に単年度の評価ではなく、美術学校教育の特性から10年後の活躍を成果として目標にしている。

(8). 財務

評価項目	適切 ...4、	ほぼ適切 ...3、	やや不適切 ...2、	不適切 ...1
・中、長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

○課題

今後の入学生の減少に備えた、財務体系の計画を構築する必要がある。

既卒者等18歳以外の入学生の増加を図る。

○今後の改善方策

年度毎の収支計画表を作成する。

奨学金制度の改定、及びその経費の見直し。

○特記事項

健全な状態を維持している。

(9). 法令遵守

評価項目	適切 ...4、	ほぼ適切 ...3、	やや不適切 ...2、	不適切 ...1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

○課題

学校内においては、自己点検は行っているが、外部関係者による点検を推進することが課題。

○今後の改善方策

外部関係者による点検を図る。

○特記事項 特になし。

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切 ...4、	ほぼ適切 ...3、	やや不適切 ...2、	不適切 ...1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

○課題

社会貢献活動・地域貢献活動の成果における広報活動の充実を図る。

○今後の改善方策

地域の要望を適格にとらえて、産学連携の充実を図り、社会的貢献と学生活動の支援を推進
外部関係者との意見交換を図る。

○特記事項

豊島区、池袋自治会、回遊美術館などと連携を図り、地域支援活動、アート活動、
ボランティア活動などを行っている。に対する高評価を得ている。
社会人教室のリニューアル、強化。高校の美術の先生方を対象とした教室の推進。

(11). 国際交流

評価項目	適切 ...4、	ほぼ適切 ...3、	やや不適切 ...2、	不適切 ...1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	④	3	2	1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な 手続き等がとられている	④	3	2	1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	④	3	2	1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	③	2	1

○課題

増加する留学生に向けた学習に対する体制強化。

○今後の改善方策

留学生に対する厳正な入試語学テストの実施。

○特記事項

海外美術留学準備コースの開設。メキシコ ベラクルス州立大学と国際学術交流の契約更新。
留学生サポート担当の就任。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

(1). 教育評価

本校は、美術・デザインの造形教育アカデミーとして創立 46 47 年を迎え、歴史と伝統を培い、数多くの優れた人材を輩出してきた。社会人としての自覚・責任を持つと共に柔軟性と応用力を兼ね備えた人間形成にも努め、また教育体制として専門的な技術と知識の習得、時代のニーズに沿ったカリキュラムを組み、国際的グローバルな視点に立った教育、指導を毎年見直し日々改良 改正に努めている。更に今以上の成果を上げるための研究と教育内容の充実を図っている。今後はこれらの結果の積極的な情報開示と、外部からの意見を取り入れ、更なる向上と、美術・デザインなどの業界における教育の重要性を考えていかなければならない。

(2). 財務評価

平成 28 年度の学生募集に於いて、前年度より減少があったが学園全体において、繰越資金等の活用により、学校運営上支障なく運営出来た。

なお、平成 29 年度に関しては入学者増加にあり、財務の改善傾向が見受けられる。

(3). 一般的評価

平成 28 年度は学内設備・機器の改修、強化を図り、教育環境の面からもかなり充実したものとなった。また研究科のシステムの改定、社会人教室のリニューアルなど既卒者、社会人に対して、彼らのニーズに応えたかたちで教育環境も整い、これらは同時に 2018 年問題への対策の手を打つことにもなるため、財務関係の改善策でも成果が期待できる。

さらに海外美術留学準備コースの新設により、ますますの国際交流の活性化が図れることとなった。「就職活動フォロー制度」の立ち上げは、学習支援において大いなる成果が見込まれることになると思われる。

次年度へ向けての課題としては、上記の新設、あるいはリニューアルした教室と本課程の相互接点を持たせた取り組みと、ますますの学内 IT 化の推進が求められ、また宣伝広報費の予算強化により、学生募集による高校生対策の改善が急務となる。

なお、学生ニーズ及びその時代に合わせたカリキュラム編成は、常に改善を図り、早め早めの対策を引き続き推し進めていくことが肝要である。

5. 学校関係者評価委員の評価結果について

上記報告書は、創形美術学校評価委員として、妥当な評価であることを確認し、認めます。

創形美術学校評価委員 平成 28 29 年 3 月 31 日

高澤学園理事長 三友喜久夫・前創形美術学校 学校長 飯田淳・現創形美術学校 学校長 山本哲次

高澤学園 理事 工藤礼二郎・創形美術学校 事務担当 田村和稔